

新庁舎等整備の新たな方針(素案) 市民対話 報告書

令和7年(2025年)10月で3回開催

- 5日(日) 10時00分～11時45分 由比ガ浜こどもセンターほいくえんホール
参加者5名 (1グループ)
- 6日(月) 18時30分～20時00分 鎌倉芸術館 集会室
参加者14名 (3グループ)
- 8日(水) 18時30分～20時00分 深沢学習センター 第6集会室
参加者28名(ほか児童2名) (6グループ)

タイムスケジュール

時間（分間）	内容
00分	開会
00分～05分（5分間）	はじめに
05分～20分（15分間）	説明 新庁舎等の整備における「両輪体制」方針(素案)について
20分～35分（15分間）	ワーク①「期待・疑問・不安など、新たな方針(素案)に対して「気になった点」を教えてください」
35分～50分（15分間）	全体共有 グループ内で出た疑問などに回答
50分～65分（15分間）	ワーク②「新庁舎(深沢)のシティホール機能、あなたならどう使う？」
65分～87分（22分間）	全体共有 グループ内で出た意見の発表(3分×7グループ)
87分～90分（3分間）	閉会のあいさつ
90分	閉会

市民対話の様子



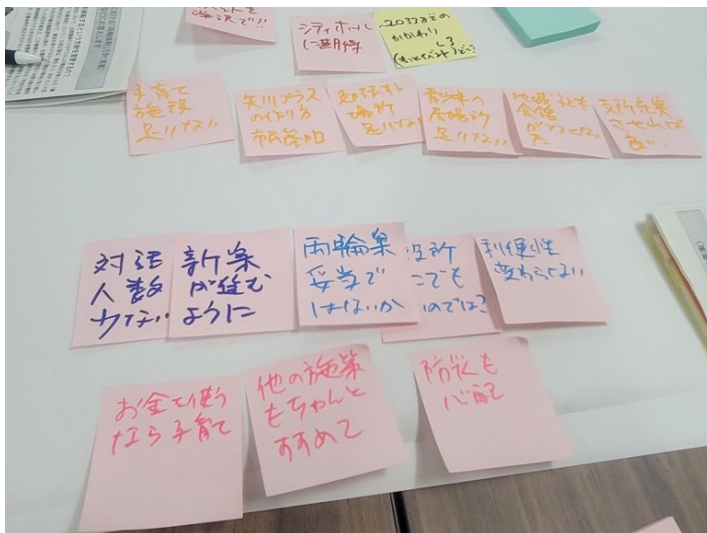
方針（素案）の内容について説明



疑問などに市長・副市長が回答



シティホール機能についてアイデア出し



参加者の発言を付箋に書き出し



市民利用スペースの事例を紹介



ワークで出た意見を参加者が発表

※5日は、参加者が少人数であったため、座談会形式に変更し、全体共有は行いませんでした

新たな方針（素案）の説明

新庁舎等の整備における「両輪体制」方針（素案）の内容を説明しました

配付資料

- 市民対話の概要
- 新庁舎等の整備における「両輪体制」方針（素案）
- 新庁舎等の整備における「両輪体制」方針（素案）などにお答えします
- 意見募集案内・意見提出用紙

配付資料、説明動画（10月5日分）は、鎌倉市ホームページで公開しています

<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chousya-seibi/shimintaiwa2025.html>

ワーク①

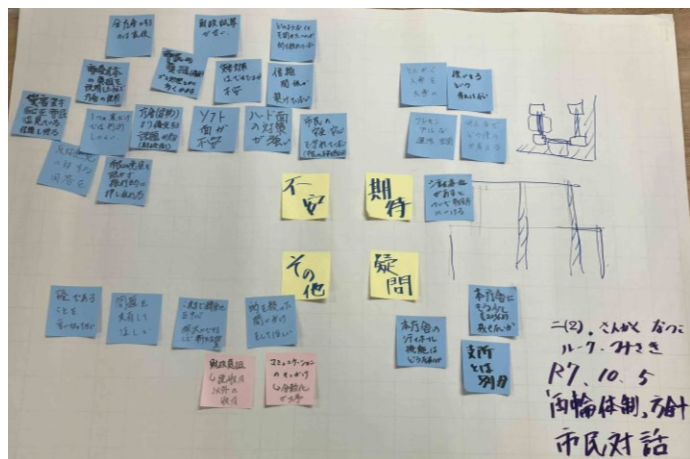
「期待・疑問・不安など、新たな方針(素案)に対して「気になった点」を教えてください」

分類	主な意見
期待	新しいまち2つできる/深沢地区の活性化/収益が出る機能を/機会が増え、コミュニティが出来そう/フレキシブルな運用・空間/シティホールがあるについて市役所にいける/リスクマネジメント/職員がいきいきと働ける場/市全体に行き届くような文化の核に
疑問	本庁舎にもう少し（20%より）残せないか/支所とは別か/2つの庁舎が必要なのか/梶原の方がよいのでは/深沢が防災の拠点になるのか/なぜ建替えなのか/公共施設再編は正式に決まっていないのでは/本庁舎の補強で良いのでは/位置条例を変える必要があるのでは/住民投票しないのか/どのように意見を聴いて進めるのか/4つの機能以外に新しい機能が入らないのか
不安	市民の財政負担/川の氾濫や液状化への対策/災害時の防災拠点としての有効性/新庁舎へのアクセスの不便さ/市民との信頼関係/説明が不十分/市民の意見を聴かずに強行的に進めている印象/大船消防署や体育館などがなくなってしまう/図書館の充実や子育て支援など他の施策が進まない/子育て、勉強、青少年の居場所が不足/2つの庁舎は非効率/市長選挙後はどうなるのか
その他	どこにあっても利便性は変わらない/施設を細かく分散させることで新たな交流を生む/とにかく人命を大事に/現庁舎が歴史的にも良いので残してほしい/介護福祉の人材不足が問題/市議会（御成）より市民利用/火葬場の問題/現庁舎の余剰スペースの活用/対話の機会や参加者を増やす工夫不足/情報提供が不十分

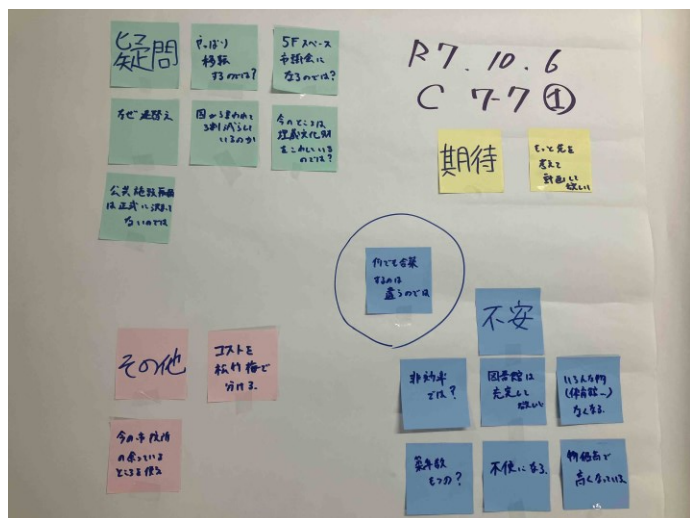
※3回分の主な意見を要約・整理した上で掲載しています（全ての発言や付箋の内容を掲載しているわけではありません）。

ワーク①

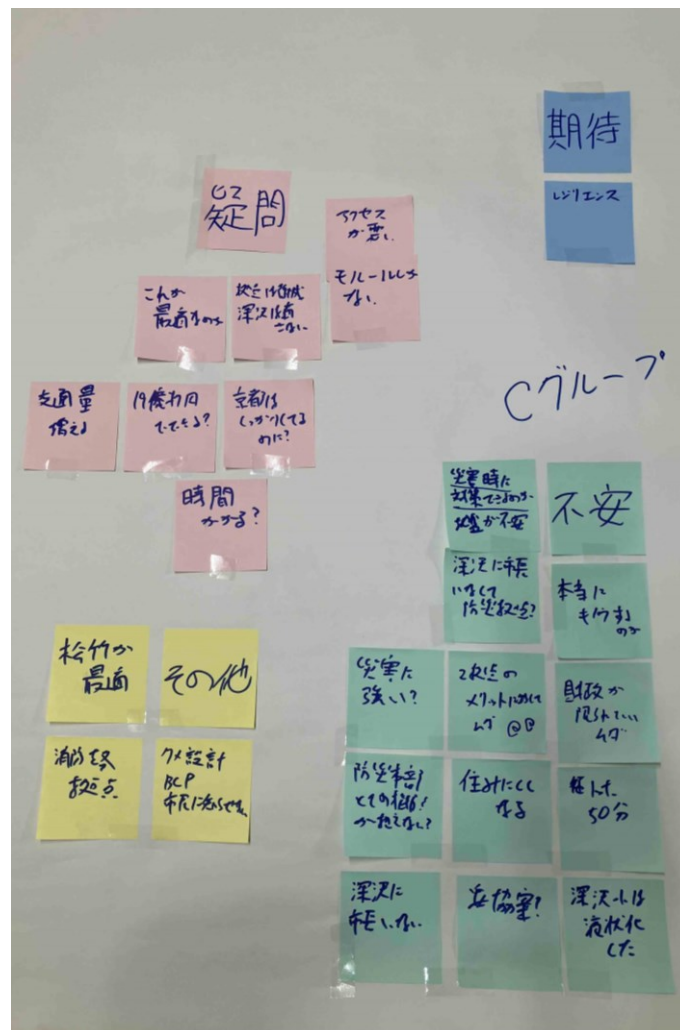
「期待・疑問・不安など、新たな方針(素案)に対して「気になった点」を教えてください」



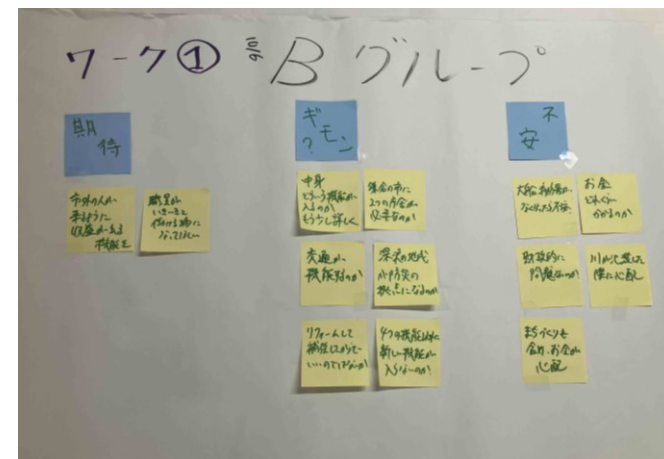
5日グループA



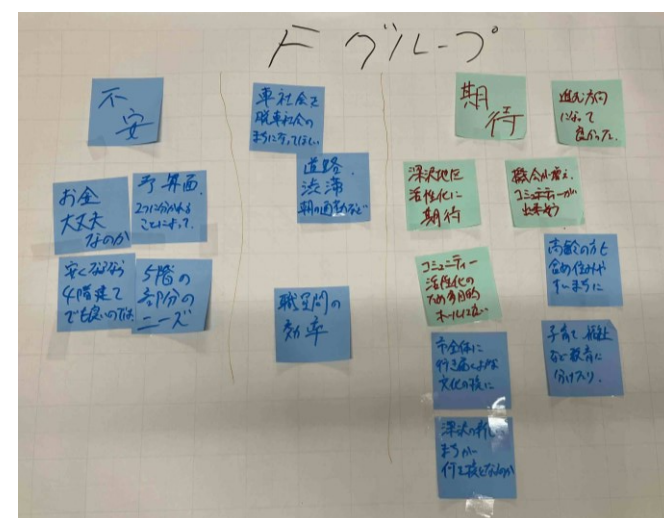
6日グループC



8日グループC



8日グループB



8日グループF

※ワーク①で出た意見をもとに作成したシート（一部抜粋）

ワーク①の全体共有（１）

期待・疑問・不安などを共有し、各グループで1番気になったものに、市長・副市長がお答えしました。

Q 1：コミュニティセンター、体育館や消防署というのは、もっと地域に分散すべきではないか。どちらかというところ集中する方向性だが、分散はどう考えているか。（6日 グループA）

A 1：分散ということも考え方としてはもちろんあります。深沢に全部集約する様に見えるかもしれませんが、それぞれの地域で役割を果たしていくために残す必要があるものもあると考えています。

Q 2：交通渋滞の問題で、深沢は現在でも渋滞をしており、そのような状況で消防署がしっかり機能するのか、新しいまちや新庁舎を作ってちゃんと機能するのか。（6日 グループB）

A 2：区画整理事業の中で、深沢の事業用地内や隣接している周辺道路を広げていく計画にしています。また、用地に隣接していない道路についても、計画を作り広げていく予定です。渋滞が全くないということは難しいかもしれませんが、周辺の道路を歩行者も含めて安全に移動できるようにすることを、計画として進めていく考えです。

Q 3：大船の消防署等がなくなってしまうことに対する不安があり、何でも合築するのは違うのではないか。

（6日 グループC）

A 3：なんでもかんでも合築するわけではありません。各地域で更新も併せてやっていきます。ただ、全てをその場で更新するとコストが多く掛かるので、コストを抑えながら、公共施設を更新していくことを考えなければいけません。ある程度集約をしていくことは必要であるということと、複合化することで、図書館、生涯学習センター、そして市民の皆さんの居場所、特に若者の居場所となるような場所を作っていきたいと考えています。

※5日は、参加者が少人数であったため、全体共有は行いませんでした。

※発言内容は要約した上で掲載しています。

ワーク①の全体共有（２）

Q 4：深沢はいつも渋滞していたり、鎌倉と深沢の間はトンネルを通過する必要があるというところで、実際に封鎖されてしまうのではないかとといった交通事情は大丈夫か。（８日 グループA）

A 4：区画整理事業の中で、深沢の事業用地内や隣接している周辺道路を広げていく計画にしています。また、隣接していない道路についても、計画を作り広げていく予定です。あとは渋滞について、すぐに渋滞解消と言い切れる部分はないのですが、バスレーンを作るなど、可能な限り交通渋滞が起きないようにしたいと考えています。

Q 5：地方自治法第4条関係で、職員数の割合が本庁舎2对新庁舎8が示されたが、大阪府の判例は本庁舎の方が職員が多くなっていたが、この辺は大丈夫か。また、深沢の新庁舎は、分庁舎なのか、支所なのか、そのあたりも大丈夫なのか。（８日 グループB）

A 5：本庁舎の明確な定義はありません。裁判例を見ると、人数は一つの目安にはなるかもしれませんが、政策を決定する、判断する機能が本庁舎の第一次的な判断基準とするとされており、その機能を果たす鎌倉市議会と市長室や企画・総務を残すというのは裁判例の主旨に合っていると判断をしています。また、深沢の新庁舎は、全市的な事務を行い、担任区域を定めないため、支所ではなく分庁舎と考えているため、分庁舎の設置条例改正の必要はないと判断しています。

Q 6：深沢は液状化が懸念されており、市長も新庁舎にはいない中で、災害、防災の拠点として機能するのか、市民を守ってくれるのか不安に思う。（８日 グループC）

A 6：深沢には市長室がありませんが、市長は普段から様々な場所に出かけており、市長室に常にいるわけではありません。災害はいつ発生するかわかりませんし、そのとき市長や職員がどこにいるかわからない状態ですが、大きな災害時には深沢に集まることになり、もし深沢が使えない場合には、本庁舎に集まることで、災害への対応を行っていくものです。

ワーク①の全体共有（３）

Q 7：お金を使うなら子育てとか、そんなところが大事なのではないか、防災も心配で、他の施策もちゃんと進めながらやってほしい。（８日 グループD）

A 7：この庁舎建設には費用がかかりますが、他の事業を中止して予算を投入するのではなく、災害に強いまちづくりに向けて財政計画を立てて進めていきます。発言にあった「矢川プラス」のように、多機能を備えた居心地の良い施設を目指し、子どもの遊び場や親の悩みを自然にサポートする機能を取り入れたいと考えています。また、雨の日でも子どもが遊べる場所を設計に盛り込みたいと考えています。

Q 8：人が大勢集まることになるが、公共交通ネットワークというのはちゃんと確保されるのか。また、仮に市長が変わってもこの話は進むのか。（８日 グループE）

A 8：深沢のまちづくりが進むと、バスのネットワークも新たな人の流れに合わせて変わると思います。今後、バス会社との交渉にもなりますが、充実したネットワークを作りたいと考えています。現状、減便が進んでいる不安もあります。市として交通が減便にならないよう努力し、しっかりと進めていく考えです。また、市長は最終決定権を持っていますが、その権限を独善的に行使すべきではないと考えています。市民の意見や議論を重ねて最終的な結論を導くことが重要です。市民が10年かけて積み上げてきた思いを反映したこの案は非常に大切だと思っています。そして、市長が誰に変わっても、この方向性が大きく変わらないことを願っています。

Q 9：深沢に新庁舎ができることによって、深沢が活性化していくという期待はあるが、どのように活性化していくのか、イメージを聞きたい。（８日 グループF）

A 9：深沢のまちづくりについて、市は全体の約３割の土地を所有しており、その土地を活用して新庁舎と消防本部のほか、総合体育館や公園・広場などを設置する方針を持っています。スポーツ環境の脆弱性を改善し、市民がスポーツを通じて心身を健やかに保ち、交流を深めることを目指しています。このような、スポーツの魅力を中心に据えたまちづくりを進めていきたいと考えています。

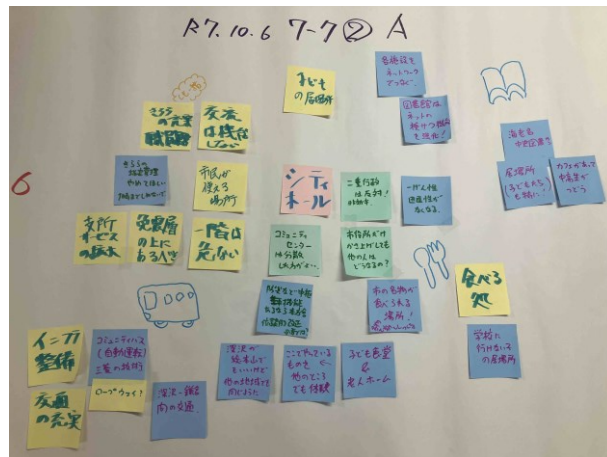
ワーク②

「新庁舎(深沢)のシティホール機能、あなたならどう使う？」

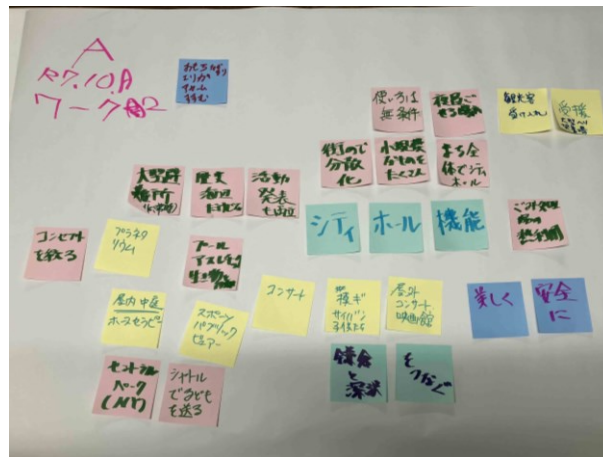
分類	主な意見
施設の活用と運営	きららの充実、指定管理の見直し/図書館のネット検索機能強化とネットワーク化/広いスペースでの若者や家族の集える場/予約が取りにくい状況の改善/小規模な部屋をたくさん設置/深沢が総本山でもいいけど他の地域でも同じように
コミュニティや交流	子どもの居場所や親子で遊べる場所/コミュニティセンターの分散/地域交流を促進するスペース/カフェがあり中高生が集える場所/子ども食堂や老人ホームの併設/イベントやワークショップ開催/体験型文化イベントや展示
防災や安全	5階を避難場所として活用/大型避難所の設置/防災対応設備の充実/自転車の安全な練習場所/雨天時の居場所
教育と体験	学会やシンポジウムが開催できる場所/ジュニア市議会/セミナーやフォーラムができるように
観光や経済	観光客受入体制の整備/地域の名物を飲食できる場所（名物を新しく作る）/地元産品の直売/イベントスペース（フリーマーケットやバザー）
健康とレクリエーション	体を動かせる施設（スポーツ、温浴）/屋外の遊び場（じゃぶじゃぶ池など）/音楽活動ができる防音スペース/プールやアスレチック施設
その他	免震層の上に建物/ごみ処理場の熱利用/深沢支所の継続利用/二重行政は反対！非効率/インフラ整備/交通の充実（コミュニティバスやロープウェイ）/深沢-鎌倉間の交通連携

ワーク②

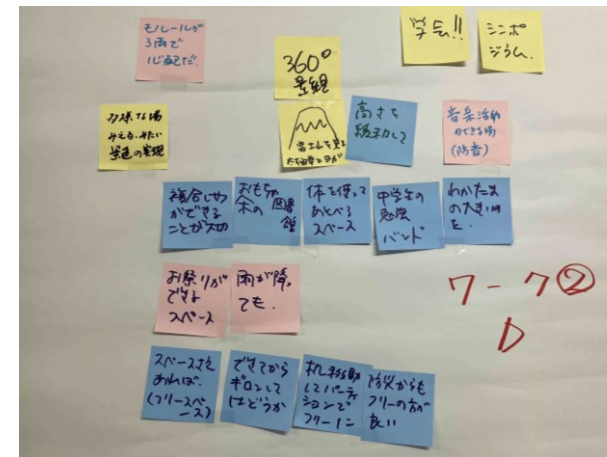
「新庁舎(深沢)のシティホール機能、あなたならどう使う？」



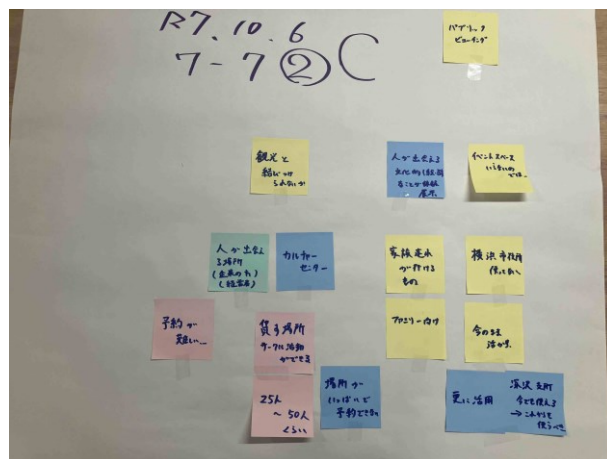
6日グループA



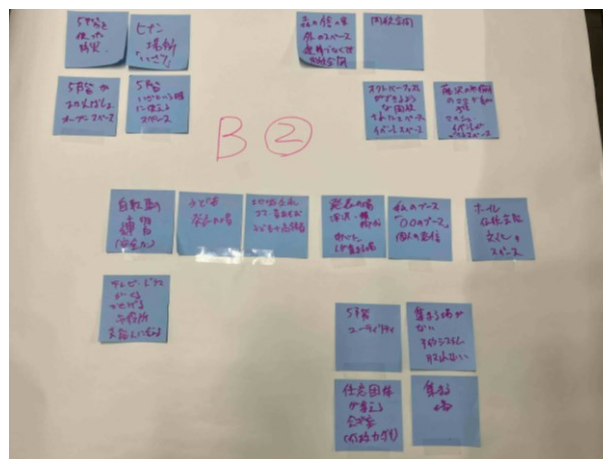
8日グループA



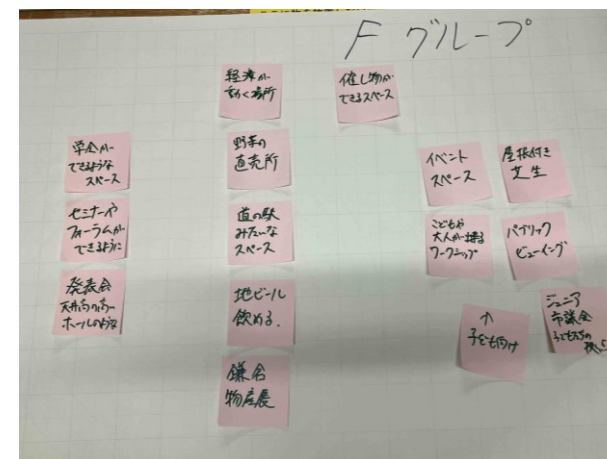
8日グループD



6日グループC



8日グループB



8日グループF

ワーク②の全体共有

ワーク②で出たアイデアのうち、各グループでまとめたものや発表者(参加者)が選んだものを全体で共有しました。

- 25～50人規模のサークル活動等で使用できるスペース
- 子どもから高齢者までが集うことができ、そこに行けばなにかイベントをやっていて、見学したり、参加できたりすることができるような場所
- 地域食堂として利用できたり、災害時にも利用できるように厨房施設
- サークル活動の発表や、作品の展示ができるようなイベントスペース
- 雨でも体を使って遊べる場所
- パブリックビューイング
- 市の名物が食べられる場所
- 入浴施設
- いつでも簡単に予約できて、簡単に使いたい
- 鎌倉らしく文化や観光と結びつけたい